再檢討の要あり

月初旬よりは隣境地震居住解聯

春縣草木瓜子 (東興城北方二里)

省ではかねてから場備中のニ

料を用ひても時旣におそく、百萬金一旦弱められた毛根は如何なる養毛

毛を早めて薄毛となります ビタミンFの歓乏は―毛根を弱め脱



に簡足する 冒地へ 質問を打切り午

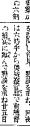
京畿道の方針

単新を質す

けふの

志願兵制度貨能の半島史上不返の

級を減じ九百六十七階級として「同シュー」のではようでは、江東五部投げ線算開係上五十八朝「を収給することになるが扱りの四十二十八朝」を収給することになるが扱りの四十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二





い感

○世口遊氏 (開発制長) 無南よ 中型政治委員會主席汪特的一最近

見智記者募

の排造と示す

高射砲陣地⇒撤回

港口も封鎖す

不良分子の青 島入りを防止

居留民の権益を保護し且つ之等。同一会しつ、ある人々の身分を保護す **汪精衛外遊說** し以て付島復興に必死の努力を

(品外部漿實)

E 段任時、神み込み贈内を超らない も誘導して、渾然一體となつて、 も誘導して、渾然一體となつて、 は注射的な作用をするばかりでは 終るにピタミンFは、咽皮自縛に 終るにピタミンFは、咽皮自縛に 经式率受针相

¥ 38 55 85 りまに店品駐化 店墓・トーパデ名

そ永遠の美髪を保つ唯一の良法です 能です、只平素ピグミンドの補給こを出すと雖も美髪を収戻す事は不可

經學院大提學

タミンF Ė のボマードに比し養毛効果が毛根の生機作用を强め、在來 ビタミンFの應用は 強宵を促すにあります 倍加されて毛製の億全な自然

ビタミンド に乗りをはなり、出物 が変生したりするが特別した男出血 が変生したりするが特別した男出血 に手収を登れます。 に手収を受れます。

ビタミントノ 小ルモンの上

後と皮膚にこ

物柱流純 用梅

をゆく

配會式株水香醬金 請本クツチ頂丹

下關電話』二十三日午後七時十五分頃下關入港の開釜連絡船景福丸(三六)

姉妹船徳壽丸(三六二〇トン)の左舷中央に激突、徳壽丸は忽ち浸水午後八時二十分頃百七十名を乘せ下關港入口巖柳島沖合に差し掛つた際修理のため同所鐡道フィに紫留中

ブリツヂの一部を海面に残し途に沈役した、廣島鐵道局下關運輸

あるが操舵が利かなかつたためと見られてゐる、偽現場には日サルより第二光明丸に關※連給船就航以來初めてのこととて一時は非常な混雜を呈した、原因は目下取調べ損一時間追れて八時四十分入港したが船客には幸ひにして異常はなかつた、この大事 助艇が出動徳壽丸乘組員四十餘名を直ちに移乘上陸させた、一方景福丸は船首の一部

角田徳野九船長淡 彦島三菱造船所で修理を受けたばかりで半般上

事丸船員の談 報と後継

五十鈴川きよきなかれをむすひつ

りさまも

かしれとそおもふ

皇后宮御歌

くにの幸を い

のる朝かな

皇太后宮御歌

歌 たば、蔣鎮の庭田東行伯、海岡 運ばれた預

車粒二干燥を製作、大量十二月ま 調查委員會

列車、利造に驀進

阿通化省城内の指京四君(こから

oJが鮮心に集つて死んでゐるのを

下請への魏向を聞る京城産業調査 京城府四九十銭工業者の軍請工

御製に拜す大御心

畏き大御心

が優年前十一時半頃卸齢を終く 京城で捕はる

四日未明京城苑南町附近を5ろ 路上に血塗

が伏中の犯人と判明した

所不定金奉会。」でまる五日流淌。里兰三三同郡登基里農李磐木共(ごつく男を東大門署具が調べるとは、十四日朝京總維楊四郡九皇頃に門 れの轢死位

ぜん息神經

一千二百師を詐取過走し、府内に「流行人が發見楊州雲王取闕べたと」したものと知り、目下検察取闕中

で治る

謝

近

御

見

舞

百火

東

七川 将 米

水

謝

近

金火

泰御

勳 舞

(= 川精

H 花米

ιk ·· 所 見

蠅取竹で有名な 今津 帰博

后市の殺人强盗

無敵を誇る

4 112

月新譜庫

ヒー(「原で苦しむ人」 んで揺れる人は

世帝中の月 東 天 晴 東京清太郎 東京清太郎

荒監察ひて鈴木肥子娘

軍の歌意家三衆

(4) #

ひ戻つたところをヘルピソ賛養職||三坂通一一四、関五人の兄の家に||曹指欽原育した所郷官人り念懇談を捧つて懺婦のもも京城に舞||通を東征しに揶揄した結果、京城||き最調へ中であるが流電声戦||(ヘルピソを 経かせた殺人 影響の| 配を受けた顔由歌手出歌すに主度 | 同點では東橋を顔自器に質隆へルピソを 経かせた殺人 影響の| 配を受けた顔由歌手出歌すに主度 | 同點では東橋を顔自器に質隆

情婦宅に潜伏中捕る

局飛

立帝、た足取りを辿って京城遷郷。られてゐた某重盟犯罪の立役とし三坂通一一四、門五八の兄の家に「生指数照管した所述官人りを像へ

廿三日午前二時平ごろ連加した。

ママレー

爽やかな

美味し

全北さの他全能から送つて來た志

京畿道前陽郡恩子面上:

否村町の火事ニー語

へ)万温突から酸火十四分 京城客村町

京城憲兵分隊

泉詩郎の熱演館 軍事物語 ■■ 盤衆大アピムロコ

三遊亭金馬

『時局・漫畵展』京商主催の時局・漫畵展

食店の営業は

鮮外のものでは大阪の九名、下閣

當局許可方針に再轉

|在朝鮮人經營||支部事態以來支部人物理店中には||勢にあるので今度新に十穀の飲食

五名、新京六名、間島一名で樽計|の鮮農の移民輸送は、從來鮮氷期 を持つて行はれてゐたが、鮮霆の一局と合此で目下職選計費中 折け行く済州へ向け鮮浦拓強経管

先づニ千八百戸

志願兵申込み既に五百名を突破

派りを場が

解氷を待たず

今春を期して精米期中に二千八百一たが、同器では最近各割で飲

許可権を一つの利権と心得で

分針をとつて強むと言つてみる 置み、組合の関係を一蹴適ら

往十里町の裏町路地を徘徊中

露人の献金

東大門署貝に捕

心に度せられ得州刑務所に服役昨

遊兵分隊を助っれ『からして永い

コソフ氏は二十四日朝京城

竹屋子逝去

父さんの

プョコライス 一だしに使つては東部京城一

署の複金陣を駆起とならしてゐた

条燥した、原因は温突の過點町五保浩植刀から發火罩葬一廿三日午後十一時ごろ東城新

忠南北 の風 - 町支出が頭 滴 南乃至内 大樹は墨 北の医工内内に 天氣豫報四日

醫院

发爆

多円の対

后21四九八番 居 選 ジ錠 各薬店にあり四十銭・一国



十五日ヨリ

30 20

水式當時の

歌門へた結果、新春早々から東大河界野戦員が追跡構飾の上連挪

す』と原語をこめて二十五四を皇

【今晚】 品

量用されます ・各方面で旺 ・ せに これに 障ながぜや 沸騰

から酸火、瓦森日本唯一棟二月十岭町五十二番地二階堂全作人。方

十三日午後四時四十分ころ京城るにたつてこまかした石炭を町

山わけにしてゐた、家庭ではこの

老人逃げ遅れて燒死

前部二階堂が中風のため身體の 一階三型の間で炬燵にあたつてる

秋樂取組

が利かず、炬燵の火が布圏に

石炭運搬人

十四日朝の天 氣槪

岩運振夫に御用 宁

REGAL 製造权質先 株式會趾 日本警費警商會

定の子三匹省木井子ワンワンの出征 大気がどり フ・マー 匹 省木井子 ワンワンの出征 大気がどり カートン人 おうちの赤ちやん 和木片子 おうちの赤ちやん 相木片子 ガハ十八鐘 (この値数十枚同時發費)

浴路、小學校、第一普通學校、 方徴州竹本組の手で繋工した戦 に来続の上先年第二した邑の第一 部称所尊の諸王亦についても敵

はたいかとみられてある の市日に午後一時頃敷品町魚市場

らか街の東安

貯水準奏達工事現就を調査する。条後入の狂言を前にたものと知识 諸工事嚴密に調查

を受け関境の街安東から近く一部に取り除か 政府組合では去る十七日安東公育堂で月例会 のカフユー業者は脱組した時間に纏み、女幹

安東。近代感覚の東微のやりにみられ、

道から技手が出張

統営にまで

今後の指移を計目されてある。

歌碣をあつめてあるが題保者の檄」の額真業者に立つ敵がたく不合理。既べの結果会北南原色内泉判儀にの司法事件として今や非茂府民の「有力者によって左右され、二三雄(してふる現行配を金利帖の特殊取の 留員工事は勿論金服方面に對する。 であつたいめ現狀打破の今間の撤 個留三十餘名に達してふるため の峡谷に泣き 終入りしてらる育職 □上利明輪頭多い見込み 有力者によって左右され、二三流 してみる現行犯を金刑事が機解取

三人組窃盗團 海路喊品運搬

「威州」法綱を潜り間に関く悪の | 黄育(京釜棉枝川、黄澗川) 即長

所長の側がに次いで鏡がに入り。 製織所の錦織郷職工とたり色内県 マ……・沙口 信を絶ってしまった。大田で開催と決定したが小原大郎。 妻子と共に来興 手むを求め興南 文甲製鋼所に行うその偽薬子にも

今 に身の自由もきかず

思ふと決心もにより煩躁の残月かがその都度夫を思ひ子供の特來を 死を決したことも機度かあつた

一陸 に帰にこの暮れな母 **戦死の夫と**

励を與へたが映画中に北支の花と

るが何人は婚姻ではなく駐在所一

脱暦を得て假理難したものであ

子未亡人が發見して選を流して感入城でも勇士を招待聴覚中のたみ

南浦署員遂に凱歌

で似合はず恋なべき思の数々なし、ふるといふ大それたものである。 に適してゐるが 如きは悪性の権権に就染、身持ちを致行、被害戦五千億間の互戦 如きは悪性の権権に就染、身持ちを政行、被害戦五千億間の互戦 如きは悪性の権権に就染、身持ち 怪しい男ご大格闘 なら血感臭を放ち保管を困らして

|昔つて小作拠的に小作物様十九一十一名から昨秋小作様を翻了る は光道面従里の小作人状松字ほか

んだ蒲團を悠々ほごいて

め俳談となり、面長の仲裁も開 とあるのを一斗一升づる酸した

| 籔重な眷慕の響成 | 鶉口から侵入し回家にたつた一枚 | 下さい』と808を求め出た

の子のやうにしてゐた目光一時計

しかない木織諸國(五剛位)と虎

で拡大と岩龍圏の難目を解いて布。まる十二日死亡した父親の死役を

【江鄉】郡內三山面警記南和怨人

親の死體を密葬

成興器に縋しれ目下回署で取調べ

【成興】既職、逝まれ四帝い家庭

少年掏模團

| 内新天機里二六日禄人夫率が垣方 | 倒もなく興尚署へ 「 なんとかして

さてこれで荷が樂だ

に活動したが一向に手背なく中「七味から今別五味頃までの間に色」り秋秋学夫婦」。『鬼空に在・瀬一が観覧』に帰郷で現山に修祀したとこと巻き子非常線を限りに消滅され、上の日前家の現山に修祀したとい

統督】横巻極まる地主にお灸市

横暴な地主

卢野町地主徐又霞 " — 假名[

嬉し泣きの未亡人 複寫して永く保存

ママー プラスタ

炎

冷主催の新年基督は云る十五 報事 若友會 【戦略】 なに本配のメダー

消火栓點檢 **向横氏、富部氏、橇**

却

值段表進

呈

い作の希望が達せられまずや│配価金大蔵(こ)の三名も同制度管

に誠に喜ばしい事である たゞ感激のみ

決証の礎を示した。また容 吹く経讃の大嵐

銃後も强化

朝鮮人會員の喜びは格別

國婦元山支部長砂川つや

相携へて義勇公に奉ぜん

中 比度点頭兵制度を買施されるに 宮瀬は如何ばかりでもりませう たりました事は耳に着州の賃佐 事切以来半島青年の熱烈な名妻 とられたのと時を向うして、こ 本に一般に関しるの妻明が内外に設 しご何れの目にか断度が質点 するものと念瀬し、その時期、の内鮮一般の質が具現された。 新心を持ち常に研究もし来った しがした。 私生生化粧人の一貫と かったりはない かったりませう しがられる 世界が というした。 というしい しいったいませう というしい しょうしゃ というしょう はいと けっちい というしょう としい はい という という はい にいう はい さい という はい はい という はい という にいる はい にいる はい はい はい はい という はい はい という はい はい という はい という はい という はい という はい という はい はい という はい はい という はい はい という はい という はい という はい はい という はい という はい という はい という はい はい という はい はい という はい という はい という はい はい という はい という はい という はい

っせん是非採用されるやりに幹続 につたのは全く感慨の外はあり め身を捧げることが出来るでう 動するものと見られている で下さい』と重山た二名の近年 る十九日難務期を訪れ「私造い 郷職業井外七名に上り今後城を 日本帝國の軍人となって君國の

一般物する情報 君で他に造得道 江原道の一番枪

お後も頭を越して親野、廿一日

とだった

成興は十八名

題して一切の手権方を依頼したが

大邱憲兵分除へ

その後も續々殺到

「作川」
江原道における子の一番

人の志願

金川にも一人校を優秀でかり、東京の歌いと

▲定平郡の山南新草県韓道後で、十一日西南原県居産郷田の二男県戦略の本町三フ三五環は焼った。十一日西南原県居産郷田の二男県

「島世院」はいる祖兵が使りさ

鳥致院にも一人

して島政院でもトップを切って二

申し用でた、同君は普通學校卒業

た江李御祭(1・15か)名と文容に「【泉典】廿三日までに成興監再分「何周里命鐵鑿氏長男金養機在(16)」り職務に燃えてあるが襲長分號所「り、 郡民はを持つてゐましたをとばか 【魔水】赤顆兵機度強表されるや

れぞ。民衆愛の極

不遇の母子二人を人知れず

陰に陽に勞はる警官

触界も恐慌

釜山空前の上木談合事件

大きな波紋を描く

なく前記三名を敷珠繋ぎにし目 山口、千國刑事は禮洞に乘込み縣 微器には時を移さず活動を開始、み込んだが披露者の周川により破 から継糸・帯湾等約五百餘間を第一を掘り発一・信誉、共同の各所店 理備の運搬船に買い込むまでは賃 - 九日不思議な確備にピソト來た

【釜山】 土木蔵育部件は釜山空間 | しかして衛来府内土木業状は一部 | 中間人の懐から財布を披取

野長會議 大鐵管内の

【大田】鐵道昌大田事務所管門枝

は昭和十年の発覚金の燃を追つて一八月友人の首を信し妻子を残して **載めてるる…といよ聞くも限しい句話りがやつとこの報반に到り聞く人々を歌躍せしめてるる。 と、聞らずも某事作処人捜金中の一種官が發見し己が演給を聞いて人類なずこの説はた一家をを、関らずも某事作処人授金中の一種官が發見し己が演給を聞いて人類なずこの説はた一家をを、関いずれがら、要はをろか、子供に異へる食もない縁を開いて人類な子の説は、行くわが身て来たが……つひに病壁に聞れば一人として看取る者もない様しい病果に目延践へ行くわが身て来たが……つびに対して事性の覚覚と関っ一、無言一演一と年、大い不在中を七つになる男の子を抱へ女の題せ殿一つで事性の覚覚と関っ一、無言** 上上平郡朱伊面出れ全宗根 | あたが思った穏の金もとれず昨年 | へながら日禄人夫となりたと夫の

便りのみを樂しみにその日 (の を片つ媚から翼つて子供にだけは

指体に臥ず身となった、無顧蓄へ一とが出來たのであった、同刑事は

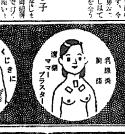
邑有志大官を明さ、松汀工業質修 71色では二十日午後一時から那内 【光州】 躍遊途上にある光山都於

松丁工實校

でたどりついたが、脱心の汽車飲















作用學好分段 干葉喜干爛



だことでせう、殊に私に年七

痛



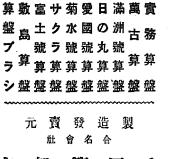
青廉品良一切親引取

ヘラムケタブ先は入仕物 部賣販所作製村武 町崎神區東市阪大

香〇七四六七阪大春振 香五五八七(東)話電

仕へは先ッタケムラへ

店盤



元 賣 發 造 製 社會名合 算 H

香八七〇二。一〇八場朝節電 香一五三一版大座口特摄



須 美 商大阪市東區北濱四丁目四〇番地

店

て書り 欧米三十輪を晒に熱なる大瓜十三年にに関する瞬と放防的應用は九十三萬四米二十年に明する瞬次二十年にして昭和十二年

0

▲談文小説『カマキ』李家伎、3

等がある、文藝物ではパール・パ

(田田)

に武職員一)日本は支那をどう 杭英世界戦争、英國を撃つ(共|故為であらう

日本物では若い人(石坂洋次郎)

とその機器、母の鼬(吉屋信子)

関係で多少選ぶが大戦に同じ候 科學。簡單2文學3档記十號

次に府内の書 店で最近 のベスト でラーを調べると、時間物は相變 を題名だけ

望へて

取出して

ある

……これは二十世紀時国界の超ト 心臓の中に執骨様の肉

種た事で思らく緊急部初まつて以くりさせた、この種の異常は全く それで居て過去廿六年間無恙で生 即も不思議だが、更に舒係しのは 來の節鍵だらうと云はれてゐる、 きて來た事である、同院では早速 心臓内にこれ程の異常物種がある

保定城壁

保定占據(報を内地

月というのに椰子が肉々としてパ 月である、南洋もサイパン島、正

作の建つ音なく門松に降りから

月である、南洋もサイベン島、正|ス夫つてあとはもとの数目である。 ことに思び出っぱいのは南洋の正|になつて置い溶上の彼方に違く浦

ば春を旅で迎へたことがあるが、

仕事の関係からいましてしばし | 新は夢ではなかつたかと思ばれる| よつと機で一人まかり出るわけに

山

骸などは通用しない、彼等の窓よ

のに装分具と酒で、これが無上の は南洋鹿で禁じてゐる、酒を飲ま

る、カナカ土人は皆物々交換で貨

本出してモデルの交渉をはじめ

たさらである、こ、では夜となりかもした勝子酒なるものを愛用 |ある。この部帯にアパイエとい

と月光が明るく地上は翌のやうだ

、朧に紀葉もいらない、煙草を | 云ふのだらう、昔に郷子の新芽を

位であるスコールは白い僧のやら

らう。 で見たのは瓦月末頃だ た個となってゐる、赞 **ら保定い既に離か** パイヤ、マンゴーがたわくに難し。した構趣にかわつて南洋の元具はポ

いくら不道真下でも元旦とあるか

ナトの黄を破るほどの楽雨となる

砂塘で兵の突撃もまだ だった様に占びてる が特だくくしらる、外は後日が一位は襲つてくる。スコールのあ

郷子の養末の雨滴を凝々とこぼす

はごよくしと貿易風が吹いて來て

一年中雨季をのそいて一日に二郎

(筆者摩山坦氏は日本閩家にして高れられない耶(銀になってゐる) 南洋で迎へた元旦は、私にとつ るるとそんな話も由来さらだを越えてこの島でこんな踊を見て

結核性肋(腹)膜炎。腺病質

結核•骨結核•腸結核•眼結 腺結核(瘰癧)•小兒結核•皮膚

提供す。切に金融圏・職職家の御髙島を乞ふ

既明書左記へ御申込次第郵送す 大阪市東區道修町

浦島太郎は南洋へ行ったのだれての下からこれを見入つてると

といふ傳説があるが、とほい

で若い男達が二、三十人並んでな の薬を焚いて火のまわりをかこ

と勇能な踊りををどる概遠はアットロヒイイヒイヒヒヒー

の機で輸具権をぶらさげシャコ貝

もしも、此處に日本 -- 、ませりありがたい代物で「鷹」が付て彼がざらさらと眺かに しまぶ、あまりありがたい代物で「鷹」が付て彼がざらさらと眺かに はない

| チニ行く、どうして海岸をあるい|| 色に見とれつト帯ったひをスケッ

寄せてくる海の器。和の鮮モかな

新開拓者

著者が似たり寄ったりの内部のも | らあの生後しい話ではありません| 死種に急吸資池処産判院に於いてらず大朝た實行きで、中には同1 | 【編書】『心臓に毛が生えた』く| 某(状に名をはず)廿六歳……な

|嫌が出來た話……つい先達つて清||を認めたのでこれを切開して見る 批響部配場で死亡した清津府居住しと、その内部から拇指大の内地が 現れ大河内さんを初め係員をびつ

うたものがあるにも拘はらず飛

【編南】「心臓に毛が生えた」ぐ | 某 (特に名を見す) 甘大歳……ぐ | が、見そこれに頼した事例は一つ れたが、その際個人の心臓に異常 大河内院長執刀の下に解剖に附す一大學にこれを選る事になった。大

もない、そこで食よ近く京城帝國 何内院長いこれに就いて次の如く 死者の名祭の馬にそして又母者 ここの信を扱める船そつらなる。まのみやこの初信にき込ふいつかたにころさ子からむ確に、北安那へあさなふ品の数小えて、 鬼 似 安縣 四 慶 知 森平つる子 いまるたて、おくるけさかな 一年のゆく手をいはふ物荷を広ひ」はつ荷ひく車殿はふが経は牛もより、 頭鮮跳宮主典、佐伯、昌徳 京、城 佐伯 記美・ 変更 二マイイに - 初荷はたまか火つよか

を持一 無時 順三 まのみやこの初荷に を持一 無時 順三 まのみやこの初荷に

城、河原田しま子とりのけし軒のしめ郷更にまたた

これは珍不思議 心臓の中に肉塊

變死した清津署留置人を解剖 研究資料にと城大へ

が既然田名がこれも映画化された「お前落婦人の間に案外多く讀まれ」は随石に文化京城であららいこととでの機構、母の曲(吉林信子)。ルッの他に各種の婦人流行類誌は「職幣の讀者が違つたりしないこと れてふることに原因するのであら、が問定説者を持ち、改造が時々と する(中野 正卿)起つ か蘇聯 されから科學、特に自然科書部門 全盛とある では文藝春秋が一番多く中央公論
あるが、讀者がにもピンからキリ |とは半島の魏桑甫工業の飛躍を反 | 閩語時代の宗教物が全く脳を失く 雑誌ではクカレント・ヒストリー ルッの他に各種の婦人流行難能は ットすることも同じである。外國一の體費人は矢服り割合に駆箕であ の各種の専門書が盛んに要れるこ。以上を要するに二、三年前の友松

ること、目下評判の映鑑が封切ら

る、麻製の影響下で脳分時局物が までかたり歴化があるにしろ京城

乳板のクロンドン・タイムスッが

讀者層は廣くそれでゐて浮氣でない

時局物と映畵化された文藝物

血栓の一 やはり珍しい 種なが

東たる水のながくたれつゝ 阿知和空彦 たへかたさ寒さのはともしられ はたかりも寒さ冬かた軒のはに入 りのきに丈なすつらゝかゝりて

月席題『垂氷』

かりて守る人もなし 風寒きかた山かけの水車たるひか 正五位動五等 阿知和安彦朝鮮神宮々司

豫防法に對しては、全世界の學者に

りますが、現今最も正しく且つ有力 より凡ゆる方面より研究せられてお

剂菌殺中口

人類の强敵たる結核性疾患の治療並

宮司正七位 吉田 貞治朝鮮神宮郡

RRし都路をはつ

(h) 一種だらう、殿者が貼つてる| 片が顕に来て死んだのだらう、ト へたいが、それはトロムブス(邮)のであるが、この患者もこれの破ではなりまたいからはつきりはい。して腹にひつかくると死を來たす 城大內科岩井教授談

をやみなく北風すさふこのころは 吉田 貞治

守指の学も今朝は数そひて丈なす

主要けることはない、これが遊離し

朝鮮神宮新年献詠

初歌會披講歌………

第四へて船人が選ぶ

155は牛もよ

るもさむけき軒のつらら水佐伯

能美

抜きはなち飼うゑたる小地

たる水とりきて庭にあそべる子等は骨寒さしらずにありぬらむれ田金之助

たるひとなりて音絶えにけり 大内 久枝 4

1 軒のつらょの太り行くかなっ この日頃祭のしづくのしたょり

臨床試驗の結果、實に左の如き優秀

られたる新発疫元で、幾多の實験

廿數年間研究に没頭せられたる、 ワクナールは此の目的に向つて過去

カオールで

里研究所渡邊輚政博士により完成せ

對する抵抗力の増進を圖ることを以 旺盛ならしめ、積極的に結核菌毒に

て最大の急務とせられております。

のものは、人體細胞の活動性免疫を なる療法として確認せらるゝところ

紀元を動するものと稱せられます。 なる性能を有し、結核発疫史上一新

特殊の操作に依り堵養せられたる結核

菌の死菌なるが故に何人に 對しても安

る物質を除き、何等の副作用なく皮下 結核菌株よりツベルクリン反應を呈す

注射として簡單に應用せらる。

迅速に注射場所に、硬結即ち良性の結

全に用ひることを得る

核性變化を喚起せしめ、以て自後有辜

生菌に對する第二次感染を防止する

一一一个時のラデオ

のつらゝはのひまざりつゝ

といふ。槙名でひそかに、呼んでる。ひに今日に及んだのである。 すはつ荷にみゆる幔の富かな - 山本 ※日のまるのはたおしたて、積み出 るゝとみしはつらゝなりけり 年にかけての四年間、國語、漢文、 老先生が、英語を知ってふられた 文法、作文などを受持つて居られ ・こを意外に思つて、それ以來、 先生は、私が中型の一年から四りも、あの図語で蹴文で騰まつい 頭髪は選事に禿げて、それだか、やめて、田園に起居してゐられた はゆる樹枝田ではなく、一急に光生を顕敬する気持になった 里へ歸つたが、もう先生は母校を ので、お願ひする機食もなく、つ 全打たれた感じだったが、それと つらったる高き朝にみ、軍のす 私たちは、何となくぎくツ 中學を出てからも、私は屢々趣

で、その頃既に五十を超えて居ら

の角封鎖があつたの。イスベリーが中部の発見とは可称

朝、ばさりと配達があるが、ローといへは英語で低

いといふ意味だのに、その低い

にはロースペリーといふ總理大臣

護師の訃

健全なる

精神は

健全なる身体に

痼

國民體力に雖み特に尊せ的語價を以て 店 /るすに快爽を神精

する唯一の雑誌である(非寶、東年號)これは日本を回数図に紹介 年號)これは日本を回数図に紹介

新紹介

股旬報 (十二月中旬號)

VACUNAL

東京市日本橋區本町 鉄塩野義

商

ф 村瀧

本舗

東京市日本展览水天宮 東京市日本展览水天宮

养筒

部堂

適應症】肺結核(特に第一期第二期)

防止のひ防的效果を賞せらる。 弱者並に腺病質兒童に試み、

本劑は有力なる治療劑たるの他、又嚴

熱、咳嗽、喀痰の抑制等、

に好適なる結果を齎し疾 患の治癒を促

免疫の成立とゝもに、體位の向上、

定價と容量 (一種) とは、百百粒 (一種) とは、百百粒 (一種) とは、日面を (一述) とは、日 盛にし 能の活動力 力に Ę, 沈衰 活 を與 中 ŧ

疲勞、 人 外 飮 込に 出 食 倦 居 怠 Ø Ø 3 の時 畤

畤

後

二三粒を服 す

錠

ħ ば 身の 各 用 旺 機

る

క ż あなた

0 L

健康

確保

7

下



田

座 回 朝



食補給の見地から

豐

報通信



9 2

♥「エニッ、シテ 其敵場といふ。 中原さがあつたらで出る所へ出て冗教したるに相違めるまい。 →「イヤ兎や角申すには及ばん、

所の総副をは其の場へ取落とし零 | 者かと安井に罪を被せたものであ 平「尺命たるかな、夜が腕帯でし、唐「イヤ安井の申す通り多分に何」

糊「ハハア左線か、労政政する苦」で人種をするとか物を確むとか したる此の安非解五郎、カラー(『常一決してたいと仰しやらか、野 々しいが、拙者左続な罪えに決し と打笑し、上り権ペドーンと蹊を「へば指者が貫所の概入れなり録説 数闘式台に立つて聞いて居りま して、其の音所の晶を出る語して 半しイヤ左振た事は決してない』 だしる協力で聞いて、又他へ行っ

委組に次に間で聞いた信仰を発生を与れるも実験者の言葉に、飛躍にた **適『イヤ安井お前に眺りて居いて** 役人で趣意だ。其計如何に探い 理罪側面を明らかにつこのか

を受けて居る、繊維を受けて居る るい枠の政太郎外門弟でござる。現在己れが人役し、膵臓の消名 瀬「如何にも指者疾跡諸宮、是た

網五郎引立らる

Ď,

(81)

一龍齋貞丈 演

三 第 士

俣 茂 彌 點

と云ふ左次な事は然にも存じませ

つて半年の上にも相成り、韶く共此の安井緒五郎に最早衛延場へ参

性質は存じて居るが、決して協力 前方へ参うて以来、一夜たりとも

元末に枕を並べて眺りました。其より捌者と伴と安井の三人、同じ

而も昨夜は手前初め門弟共と、夜 「遺場を明けたる事はこざいません を致うやうな人物でない、第一手

の九ツまでおを関んで居たが、夫

本局五一九一番的明治町 役人とても指置かんでし 立てるとは何畝なるや、拙者は身 に犯した那はない、過ぎを申すと「者越た練懸に致して、折々頗革戯立てるとは何或なるや、排者は身」つて胸非の對手を致して居る、訓 **知道しがない**」

| 平 「ウム毘えないとあらば云つて | 故、取りにも念らず、又光方にて 鼠を忘れて立見つたが、無度の事人などを忘れて多る、昨日も又燃 つて幽非の對手を致して居る、訓し、毎日のやうに暇さへあれば急

とハッタと睨み附けた。

楊「拙資信度屋会兵衛と題底にな

+

電表した方に相違めるまい』 ・「イヤルや角用すには及ばん、地を描い、主人会民衛の目を覺せ」しま事、又其の位の事は学人とて基本に対し、四五百姓入り居名金文 も誤人の歌歌とたるとは、展に意思がなる、昨夜は野野舎兵徳方へ も愛らんであつたが、天が関めず関かせる、昨夜は野野舎兵徳方へ も愛らんであつたが、天が関めず

新·台 5·60 5·60 5·60

りたり、最早からる確なる。根据ありらう。天下のお役人は何かた。

お - CO - H - CO - H

方の申ず事を開いてお取り上げに たるものかたい

る上は、正しく即は汝と極れり

どうじやア恐れ入つたか。

(中四十) (本·安 二·公 (本·安 三·台 (本·安 三·台 (本·安 三·台

地址

さえかた

(十二日) (十二日) (十二日) (十二日) (十二日) (十二日) (十二日) (十二日)

後のやらに思しました!

先生で在らつしていま

金崎に後の唐紙をサラリと開け、て皮肌を受ければたらぬものでご。 一般けば、邪もたい神子が自しられ

医 独身

て、其へ立国でましたる許疑。官

0007

糊「オヤ是」先生』

ズラリと夫へ列んで居りまう。

作政太郎を初めとして門人一回「平「イヤさ罪にた」音を展開に附 けてそとと云本の続にてない



臨朐縣城の 國際勞働總會に 代表を派遣せず 角を占領

れ、これと同時に學務局は昭和十年度を以て完了した全鮮一面一校計畫から更に昭和十二年度から十ケ年計で回の學制改革が實現すれば將來の義務敷育施行を前提とする、中等學校の共學、普通學校の名稱改稱統一が以場一致を以て通過、目下法制局へ回附して審議中で、本府學務局は全力を傾注してこれが通過にあたつてゐ

より倍加計強を樹立して既に實施に移してゐたものを十三年度から五ヶ年に短縮して實現することとなるわけ

長沙宜昌を

九明ことが鳥間巨民として教育が

昌に飛び飛行場に〇〇キロの軍罪 要施設を機難、又一郎〇〇機に宜 要施設を機難、又一郎〇〇機に宜 【南京二十四日同盟】二十四日我

|空観部隊に関係をついて長騎長沙||場に待機中の大震爆撃推士敷機並||に開始山及び周玉祥も北支敗戦の 【上海二十四日同盟 情報

開議に於て昭和十二年度一般食 東京電話 政府は二十四日の除

竹軍事扶助費の追加一千五百萬回 併定直ちに衆議院に提出するに

五十億に達せん

兩日中に大藏省に提出

グイヤ型 等上輪 市 面書 神を含

回時に

初等學校倍加計畫短縮其他で

の本葉職を発じ山東省政府主席に「第近を行ったが近く處形の判決を

見るはずである。なほ類相楽が戦一委員長割常は二十四日の政民廟以

【東京電話】政府提出各法。案 案の悉,員長決定 政府提出各法律

【恋徳二十四日同盟】重慶來駐に「判長に何郷鉄、庭伽殿、何成治の頭

韓復呆極刑

たした

18-ty y 20-ty y 7 30-ty

實験を終了し午後五時

之にて図跡大臣の従

「相、有馬器相より交

合を織りに断順する 相法规反出

一大に対し、金融を表

臨時軍事費の總額は

丁七年度には九割迄教育完成

には小山谷祇氏(民政)が立つて

ついで 政友食の 砂目煮散氏が第一てあるので、介埃の胎散に独耳鳴 諸門題について主として首相、嬴一郡麹を中心とする外交國防財政 4 府當局は學制改革の

けふから豫算總會

が ある、戦闘関の日本が平 別と言へば上祖帰聞いい

学的たやうなことは超れ 日本から進んで

では、日本のでは、日

りも同様の枠繰あり

生徒募集級占州獨生經歷論語話

田子一民氏を委員長に決定

巻二時四十分数「のぞ人」で簡単「概されるので常日は本松的観覧に」環時光規選反のかとで「切の官職者で大」の「名字母「十五日年」で献力管理架その他重要法案が上」表演を著り着し、原則より作者とし 入らずして戦争し、廿六日午前十一を創むされ軍事委員會の手で軍法

に照し塵間する冒頭表した、軍事

医延保险法案 委员数世委员员 俵 孫 一

なの研究

▲貴族院

委員長 添田敬一郎

¥ 3.00 = y

¥ 3.00

委員長 俵 採 一管理法案 委員数冊六名で特果左の如く決定した

◎大學 豫科(7年制)約二百名就最四月二日 ◎大學 本科 连续原的的三十名就是四月一日

+

研究)の一般施政方針の研究)の一般施政方針の 質疑に移り、園田武彦男」の側院に對する各派の

急ぐ事は大禁物

谷公使本府で語る

さるから元買し県は一節の8杉山陸相 英雄版に対照

する法律者、電気事業法、電力管理に伴ふ評價鬼、日本譲送证様のフセカーをしたこ後、問題の電力

◎専門部文學部 (呈華體)

健発の四件を一括し

班託とし何時間に條格

詳細志室學部短照質(要於参三錢)【兵庫縣西宮市外甲東村】①出瀬締切日 寛養三月十六日 本科隆科三月卅日文四月四日 ◎高等商樂學校 (三年紀) 約二百名 試驗三月出於日

規則審要郵券卷

||情報|||加藤博文郎氏と共に入城。 中であつた谷正之公使は廿四日午

ない、各地に新数機が樹立地を旨としてはいけい。

し、再び午後四時学倭城森橋

國務大臣演説に對する

質疑を終了す

安藤、椎尾、三浦各氏質問

安藤正純氏(成本)

資達行して行くすべてある、場の出来文 代際に必適してあるので来なるない工作者である、案の出来文 代際に必適してあるので来なる。案の出来文 代際に必適してあるので来なる。 人

提換のため二十四日(
殖回頭車)朝韓農育 りも一緒原理薬明の 年民國機能群とい

可法權の刷新等

濱野徹太郎氏 ため内政上に革制を要する行政政)登壇、長州抗戦に對應する

構製を連れて徐州職を提供燃焼せ

上海一十四日問題一新軍長等

資野氏法相らに質問

次いで麻生氏も起つ

不成院**才**會議 二十四日

近の者が「脚下一人でからの概北京に行つた。 い』と蔣介石の戦 外山するといっ 甘甘 縆

木戸文相 消年學校義務

全後教育制度の全般的改革につきて現せんとしたためである。







鹿兒島高等商業學校 出颖州目 自三月一日 百









北支經濟開發

併行せしめて、開發の迅速をする統領と資本の自由性とをある。國家条題主義の趣前から は之を必要とするも、数本家 **芸派と、漁事せる日本の科**

の頭膜であるに抑らず、支那問題である。網道が一周經濟 根本方能は秘討されつくある。根本方能は秘討されつくある。既に、政府に於て事である。既に、政府に於て事である。既に、政府に於ての時心とのであるが、この前面のからないであるが、この前面のからないであるが、この前面のか 修治証政に関しては日、游、 聞らんとする方針と解除され

友に於ては『道路は変明 の急に、一日も忽がせに出来

川支通が最適であって、 物の如き原料品輸送には、 のである。治水は農業問題上 前からも要求さる 網を完成したければなられ のみたらず、関家總別員の建

に考慮されねばならぬ問題で ての使命を負債されてゐる以 英語語とも大きな開聯を持つ 上経廃上加何に重大なもので いっこの航空路の整備は朝鮮 いかは今更ら云ふまでもな

航空路の緊閉なる連結は充分上、北支鑑道との直通連絡、 鮮を主動として検討さるべ大型船に内地を、小型船に 又当島、天脈を中心に計畫さらなて必然的のものである。 鮮然液と北支經濟の相關性を であらる海進の統領

華民國の改正關稅 閉鮮貿易に好影響 路の改修、河川の修築、運河で一段の急を要するものは道 急だりとさへされてゐるので

あるが、北支の航空路は當然

米は免税、關係商品稅低下す

46

支

四時第一次開稅改正程等を競技し

林梅、砂糖、木材、陶磁器

| 廿二日質施競裘された北安間投政 | 度に於て二千萬四、鷺泉經由北安

かつたが今回の新改正税場の質論への貿易に僅か三百萬間に過ぎた

にも三ヶ所ある。 であってからした突撃路に他スケッチは大北門の突撃路

快工人が多い、菅氏を初め宮 信長など書かれた 単標が冬空 つたであらら〇〇機関、〇〇 こ、兵站司令部の勝枝に愉 この城壁の上には無数であ

氏などのアマチューアの紹か 夢、末水 柳町、生 駒の踏

寺本 忠雄

規持されてゐる抗難。更に「館も決定し趣郷工作の第一線に立「支一帶への日承金職機関に難鉄が「関では低に第三次職時大改一路「一月二十日復活」と天々の店「部衙所開設の選びとたるべく、北関では低に第三次職時大改一」所南(一月十日閲始)計為支「更に山西の太原に就ても近日中にの審せてゐる。然かも解析、一角、所南(一月十日閲始)計為支「更に山西の太原に就ても近日中に、「鮮内貿易機関委者は削る」店を中橋に、石祭莊(一月十日閒」店に昇校を見っこと、たつてゐる「一

に | 解銀の北安に於ける栗獅は天職支 | つてゐるが、この内郷南は近く支

鮮銀の積極化口登しく

太原にも店舗を

時局に躍るスパイ

王

太原城突擊路

てゐるが、廿二日は休暇中京城郷

*商士 ―― 要題 キャー第八 计金金三 圓也

累計金七萬四千八百七 九十七錢也 學生の献金日 千六百八十三日

本所に寄祀される國際観念は開撥から六周二銭が別等妻科製として、風の如き超非常時の愛観の熱情に、しく弟子町丸山脈に、小山直開着 廿二日の本社寄託分

大が散ら有窓裏に使用したいから、扱った十二月中に設ける小色郵便 「大が歌ら有窓裏に使用したいから、投一工作の 大が歌ら有窓裏に使用したいから、投一工作の 正弦裏に上段する人で、「一一大変」に関係しては、分類、「世世に対して、大変を有いしてのなり、使用したが、傾向感の抑化、「治理・一十二月中の 正弦裏に上段すると別 と応ばした、傾向感の抑化、「治理・一十二月中の 正弦裏に上段すると別 と応ばられ、傾向感の抑化、「治理・一十二月中の 正弦裏に上段すると別 と応ばられ、傾向感の抑化、「治理・一一大変」の 一一大変 いい にいい これにいります。

夕刊後の市況

念には窓を入れ、破損なまでに私一関軍の砂路は絶對に他に彼らされ も國家の為にも一番安全な方法で

(素)に収入けられたものに、近日 「ヒゴーで両方版とたり図内競技技」もります。比較止せられたもせ渡るのでありますが新しく解析は「現今で電母が単に軍隊の機踏に止して十分の御鑑力を填いしたいので

あります。非独止せられたる地域

川附近ならば月尾島の頂上からた川附近ならは月尾島の頂上からたれたのであります。ことは繋されたのであります。是は繋される必要のある方は朝鮮東河で高い曲可を受けなればならぬのであります。

する。機で犯罪は脛人の皮能に依つ

経験されることになるのでありま なありますと軍機保護法に依つて 1 し許可手級を取ることな

4.水酸の治療を増れるのこと及び 上にも必要なることを理解せられ

朝鮮嶽兵隊司令部 大尉 一家

種質は前回回様のことに

に知りたがらず、之を外側より大

)年に入つては、傍系西鮮中央頻道

京濱との取引減退し 對阪神が激増す

十二年中の對内地貿易 鮮銀券增發

示してゐる

移出港在高

五十萬石增

二億六千八

軈て淋病は不治

八九京機公立商樂學校擊便局實一大圓二段十四。圓五十錢 京姨清景町 生

防空器材献納

門すべき傍城駿のなかつた映版に 帝大の發表

多少牧政作用あるのみ。と論及せ

豫想以上の成績

| 西窓する飲の出来ない都覧であり | 開する表成類の医院を仰たるほ子|| 射門系の歌しく吹める戦、院だも、果を祝め、起来の見さる部域を娘。| 情にもたる部域であって、戦略、治戦に成みたる郷処御親以且の経 否定する事の出来ない事質であり

が、帯腹を影響せしむるものは無、るが患々解脱索が際に影響しつゝが、帯腹を影響せしむるものである。 概然に続ける恰勝逆として職べるを飛脱敷の内には、磐癬・紫原帯 人類幸福のために

たる淋漓患者にこれを質地位

冰污根本征服

87(1)287

誤認せしむる

あつて、異無意識に傳統的の療法をつて患者自身を不幸に導く形が があるから、服散数金に耐人にもがあるから、服散数金に耐人にも つて必要体質値を保好し得るで使用に用い物域は影響になく、

胃

痛...

.....等の

噯氣"

生》水、

溜。 飲

を配無して、気がられた治・原

は、一大調飲を與く、範疇はの数数 であり、整飾を患者も我に別数に が、減でさく、気喘的に診断に が、大きない。 であり、整飾を患者も我に別数に が、大きない。 であり、整飾を患者も我に別数に が、対している。 であり、整飾を患者も我に別数に のであり、整飾を患者も我に別数に

この反響に聴け

医小型 医多种虫 医多种虫 動力的確なもの、出意を恐んで

数百個に砂る治州側の質はを行ったは今日まで、命の影響に関して 悉く快癒





分の胃酸が絶えず胃の料 分の胃酸が絶えず胃の粘膜を生は神臓して治療を忽せにすると、余 遠にはひどく歴郷して胃はまさな るしれがあります。 し、胃壁を荒して治ほり掘くなり 門所過多の初期に「胸やけ位」と

習慣性のない 最新の治療以

打制する等、獨特の作用によつて打削する等、獨特の作用によつての財験を吸收して酸酸を減じ、分別財験を吸收して酸酸を減じ、分別財験を放送して酸酸を減少して酸せられたもので…… 多を早期に治癒に導くこ共にたいます。 まる まる まる これ 間酸の効果を果げ、胃酸温 間酸の効果を果げ、胃部の間に、 胃潰瘍への移行を防ぎます。 新治を創建酸プルミニウムを主か分で ノルモザン錠は、最新の専理に同り 衛兵長田武 #1844 町修道市阪大 元 資 登 衛兵新西小 #1844 町本市京東 店埋代東縣

で負擔せわばたらわものでありせ、現質が保険より切迫してをるに拘、革命に日本國民として輝かしい訳。した特異歌襲に概じつての運り食べわば、本書等発している。これはどのやうにやりくりしても、の発験に職一人として海手に住ち、か、あることの目的達成のために「長フリーズ・ミラー女政が最近へ て保に担る人はありませんでした。「時何必かにおあづけ致しまでら、ケ月に取りこの問題について調査。本書を展り返うて見ませら、あ、生を従る襲しいものではあります。ラーズ・ミラー女政が最近人一人マン・クを粉類百八十四ボンド大な費用が計上されてをります。 の生活を扱り返うて見ませら、あ、生を従る襲しいものではあります。 含かニューヨーク州歌劇局部人部 を得た 十二四ボンド ませんが軍衛教として四十個が起」ひます、私達は智慧管理の自分登 所に指路に立ちませら、 別チャープラー・エーヨーク州歌劇局部人部 を得た 館の立場に於ても大局を配識し、 期作職の国軍の遂行のためには主 らず常時の情勢より犯談であると「統を今こそ静から與へられてをも」の女性は一年に左の種り食べわば「本歌對菜」の質の時より犯述してもるに非。可以により見りして、まして、「・・・・・・・・・・・・・・・・・ 古代情緒を現代に生かす。

めか、今日に至るも何等標度界

都市になる カイロが博物館

の観光客をこゝに吸集しようで自患者のみならず、外間人 四カイロに集めてことを一大 療を特別の概念の直打を今 られたエデプトでは、常時の が進められて居るやうです 計量なのださらです

赤ちゃんに薬を・

人れてやつて、生ねるい水を一日 ヒマシ 油、ヒマシ油は大

氏久和大众 騎停 五 四 三 二

つ飲ませても少し大きくなれば

Table Transfer Tran

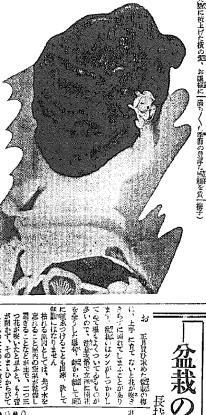
△飲ませるには、▽

タイルでございます、只今の流行 (今) (賽)

共に古代変化の段気をして知

強じいクレオパトラの名

大念に簡単して、どれ種家計を「、」に思いすることと、これでいるので、さいます自家の収入を共選とした家的は、対域で持てるスタイルでいるいま はへるので、さいます。



へる必要があります、今までの ソトを得たもので体験に理解的ないかが、今までのであるといいができてするのであるといいができるのであるといいができてする。スタイルは、我が関の和難からとも、時へ力を捨てて自気の観測。我を風難して居る此のリーゼントスのものであるといいが、タイルでございます、只今の流行というない。

大脈に積上げた横の蛇、お腹槌に一帯ちくくーールカール、髪を想はせるグット す、日本監の前端に似せた頃のロ

(古典) の持い態壁と全部 足の英を充分生かして、好しい物



リーゼントスタイ | 共|| も、腹髄でも、そしてお洋服にも | 女のおぐしにも美しく句はせて下 和版にもどちらにも向くスタイル。さいませ

(日本) の古代(樹林を現代) した、特にそわして、耳の後まで) の古代(樹林を現代) して雷をラウンドカールに救しま カーツは前をリーゼントに致しま

掃ふ必要があり一年には一人たら 法してみるたらば五郎七十仙を支 突きょるまで

族と何居してるる者は二百九十六一ピースをふりかけてするめます は週七舟二十八仙、家校と共に生 リケン粉三杯をといてゆめ、あたく女性の企覧は彼女が一本文だら 親にアッカ親三本によって は最低三百七十八弗五十三仙、家 | 入れて教たら皿に盛り、グリーンは最低三百七十八弗五十三仙、家 | 入れて教たら皿に盛り、グリーン 右の企事を握るとすれば未図の観します 二百八個一よつといため、쯾刮板で味をつけ

ためた生物を少しづく生してのは し鹽胡椒で味をつけ、樹草と踏と 鏡にパタ大進三杯はどとき、

・ 男っ一人女見一人を育成して居 片葉が、胡麻油、酒や木 健・リッチャ、女見け今近年が、 中葉が、胡麻油、酒や木 健・リッチャ、女見け今近年が、 中葉が、胡麻油、酒や木 健・リッチャ、女見は今近郊がされてとらばく でいたいます。 から、生に二つ位に切り、 健と酒をまたしていた。 一般によっ位に切り、 現在は相長く かり注別と要な無用数しました。 海は一寸位に切り、 見存は相長く かり注別と要な無用数しました。 海は一寸位に切り、 見存は相長く かり注別と要な無用数しました。 海は一寸位に切り、 見存に相長く かり注別と要な無用数しました。 海にいったのままで かり注別と要な無用数しました。 海にはりません。 一般に「少なので診察などのどのよった」というままた。 こうちょう

お 正月買ひ求めた観聴の権 毎 日根本に充分水をやり、 北上所へ端火きで生むるい水を吹一

長持ちさる秘訣

于したのは違いもどしてバタでも 合してから一寸角ぐらるに切つて おきます、機事は生ならそのまく 拵へ方==跳は熱湯でサッとゆで

四十四ポンド 百七十六ポンド

四半布に變り汁

師を入れ場をつけ乍ら煮込みま

手許に呼び寄せたのは、危険な七五虫に、六四銀を犠牲にして誰を大利久氏の六七飛以下、加藤氏七 ら香栽して敵の七四難に、九四玉に此の順は豫城してゐやう玉ñ自 要である、

是を七八玉と逃げるの

加藤氏の六六玉は危險の様でも

最 は七七歩成りで問題にならな既明銘も無く九四玉の彫八六 |手順に四七馬と追納されて再び

第八局(與1九五月近3月四)

大和久氏は惟しい悪で語味した。 「は、人工」「「比」から、大和久氏は惟しい悪で語味した。」 になっても此の既は離刑を取った。 大和久氏は惟しい悪で語味した。」 は完全が指し切りである。 大和久氏は惟しい悪で語味した。」 は完全が指し切りである。

|い和服・特に若い方はなんとか工 | 單調ではつきりとした色例へば変 | ―變化にとぼしい和服に 近代色を採入れる トの下からほんの少しのぞかせる

|野荘の骨頂ですから、マスラその どなさいませんやらに、これこ 見せませう、忘れてもうすい様な

した全然反對色、しから逐手た温

555 75 t

なに、1度指車をかけて完成のた

めに努力せねばなりません、無駄 ろとの二方面だけは微來よりも、 の完極のためには狭して時間と収

用とを惜しんではなりません、寧

ぶつたからとて健位の向上と教育

さて生活を切り詰めると

せうか、お互に手をとり合つて



けて三回ほど縁必せばよい んから、少し位を私にやつてもよ 水はやり過ぎの心配がありませ 最後の管まで美しく吹くやらに ればそれだけ度々器を吹きかけ が開き過ぎたら細い箸か

決める場合この前果を参酌すべき 概器部門が展情婦人のサラリーを

がよいが、石炭ストープをどん く、燃やす部量などは花瓣が乾 らく燃やす部量などは花瓣が乾 ら まず、土が常に繰ってゐるやらにし 1万月に再び美しく吹きまり |根を埋め、大地から直接発露を見 限労りのよい題を掘って鉢のま らせながら、大切に扱へは水年の たいものです、花が咲き絡つたら

一合、メリケン粉、バタ、グリ材料、第三切、推非三個、牛乳

お手輕洋食

鱈のソース煮

ーンピース

【答】 以女の病気は神経経験 ホルモンの不足か、機能過多 酒井婦人科院長

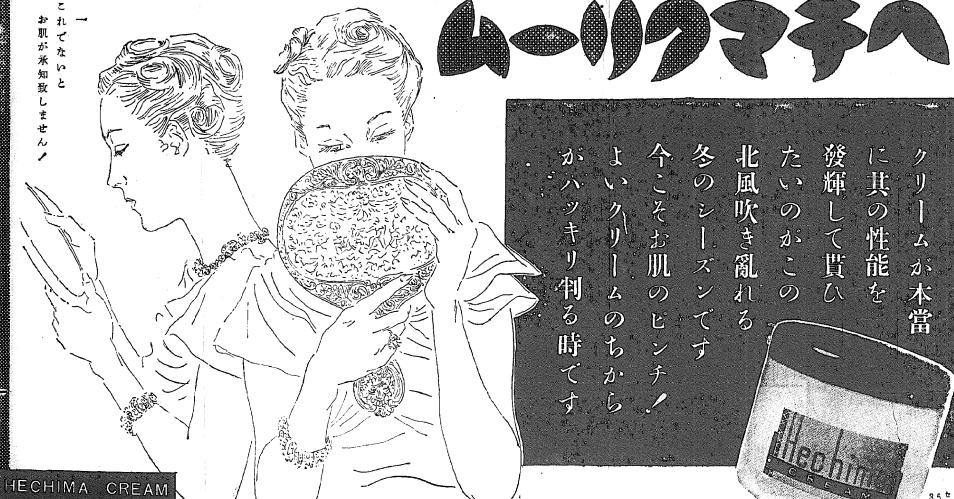
想館がつきません で分りません 婦人科の質問には かではありませんか、どうも酸な 月程の狀態

子供の生れた年月な

第

持時間各七時間 累計 (水和久氏

玉自から奮戰



京東 舖本 店商源近 ★ 社會式株

源

噩

天

がいたので、これだけは止めま」には半兆の中へ存わせてかませれたとがあるが、これだけは止めま」には半兆の中へ存わせてかませれ

く続くく飲めるやう工夫して奥へ は大てい定まつてみるが、叛から のは続物です、砂糖をまぜずに、焼ることが日来ないので、なるべ れて飲ませる、水栗の一回分の紅 せんがそれにしても豊か多過ぎる

探にして異へればよい、よく母親ーソの先で細かく辞さ、粉薬と同

すず

肝油はヒマシ油型的人職

よいが大きい子供には梅子湯を否のや、堕センベイを食べさせるも

ませたさい、すぐ不快な味が消え

で吐き出してしまって繁美を充分、時に即見させて小化へ少しづい人。めを損ふやうなことはまづありましょの先で和かく砕き、粉寒と同味のために前に弱ったたべものまって飲ませたさい、ജたまと與へる「飲かます、砂棚は栗にまぜても効」で肢めないから血に入れてスプ級のために前に弱ったたべものまって飲ませた。、近角の裏「てい甘くしてあるが、それでも線」小皿に「固分入れ砂糖を小乱ませ」 大、梁 は そのままでは決しつて端果がありません、近角の裏「てい甘くしてあるが、それでも線」小皿に「固分入れ砂糖を小乱ませ」 大、楽 は そのままでは決しつて端果がありません、近角の裏「てい甘くしてあるが、それでも線」小皿に「固分入れ砂糖を小乱ませ」

飲ませては大てい町9田してしま 水敷は 赤ちゃん用のは大 こな巣 三四端の子供にはい時に、それ相當の薬を買へる もので、そのま、製へるのは無理 ませるより何臥させた方が飲み易思い時に、それ相當の薬を買へる もので、そのま、製へるのは無理 ませるより何臥させた方が飲み易 いやく、飲みでは効めが薄い

内地から募集

初等學校の攬売で慶北では

[→變ら四大邱の入學難

受験兄童に春寒し

乱採用することになった哪由は阿

二月末までの下半柳)は合計二百一策について協議する(成興 署受理・昨年六月 から十一年閲覧第で報節し発

【仁川】商工會職所では廿五日午 上川商議總會

1加州安一(五七秒六)23金光容▲中等二部四百米

美肌は

生命です 女性の

れを防ぎ この寒さ 就職志空別

日の一条年十二月中の夏上高は一萬一 間閉時刻

一百名》先生不足

総織開發は關係者間で財鑵をする

【金山】南鮮の帰職として問題訳】遊拝して後来原内物課長から帝國 | 甘蔗京郷近知事の大英職によって

政府の蘇明及び南陽智訓示要旨の

資金五十萬圓の會社を組織

五時、七時(七回) 大時、二時、四時、三時、大時、十一時、年後一時、三時、内定、京観覚井初太郎氏が社長に月一日から九月末まで午前七時、云倉駐側立穂會を開催することに

仁川の火事

横山郡文光而有志率棋裕氏は同面「乾を氏が重視とたる機構である。消防器。具、寄附、「木門」「耶、荊井文司、西田松麟、辛島芳清)

時製克服を誓ふ 鐵石の決意を促す

江華島のケ

"る)に腐州、京城を輝盛に昨年四 【廣州】郡內草月面新月里村吳信

地元で協議

二時廿分から郡魔食韓軍で駆急面

廣州面長會議

| 1 | 株「四月を金網|| 五層日氏の質問を繋げ、| して同五時頃観水した、原次に火 奥士のため一分間の財酵を探げ、| の不始末かららしく批解が三萬間| 全部学の調ががあって!… の見込み 川における幕軍時間「かちとき」」「永岡」 毎川原華服教所における一かちごき 募集 【永門茂】 - 鎮川の 煙草 閏上

選方が表現されてゐる

一内仁部町楽観九の三君は二十日 **给仕加速框 邑内南昌町初明**致

水原】那内日旺面松竹旱水原支

志願兵 水原から四人

鮮産貿易品に凱歌

釜山産の電球で琺瑯意器

完全に世界を征覇

整署に出頭、熱鍵をこめて志願

「釜山】明朗開連の釜山神外貿易は新春と共に支那郡壁の刺戦を受けて多大の期待に包ま ▲電球六十一萬五千四百廿四圓(前年度三十五萬一千八百六十六圓)▲銀鄉戲卷二百八

驪州でも四人

東の各地に羽弧を伸展する浩梨で鮮寒愉山に萬丈の梨を吐いてらるが様に支那郡麹のため仕向地とし我郷鑑器はアフリカ、南岸、町度中央温報型各地、坂及等アフリカより近果以 に独し電球は装飾用豆電球を主として倫敦、経育、アントワープ、リパブールを主要だる

> 消防機関がないのを遺憾として 開商卒業生

かけて

七十三件の多きに選し日を迫つて一節、沈相格、安策智、李真夏の職」で直ちに認力を開始したが挿気に

名會配は十日付で許可となつたの「歌夢」を筆語氏である氏が合同して設立した風機酒造合「本金は二萬間」所提「此神俗氏

警戒を實施し、永井署長自ら陣頭 間豊夜二回上映▼東鷺、とこれをはいる。 しまりここ 日からずはまなり 愛館 (仁川)廿七日から 廣州も質施 【廣州】書 日ニュ

いや全く先生の特神的指導のお欧

人正七年

4が

成北に來た頃は

確か

全が大台に翻を唱へる

大がなんに強くてもそこに 土草内引車とし、こ要するに人の知ですよ……一人一 せん、時局概との武學するに人の知ですよ……一人一

て又去る昭和十年には全日本

部具一同はみんな優のいよことを

の如き自ら敷帯方に來られ者い者 (「は全く今者の窓に打たれます、 の如き自ら敷帯方に來られ者い者 (「は全く今者の窓に打たれます、原 四段が十二人、三段が十二人、有

せんそして少しも強いのを読つた ん伸びた柔道だから少しもおちま にねばり強くそして戦年にぐんぐ

曹系昭ではまる十五日から自動艇 哲年末警戒 【氷回】 鉄川 及び川防祖と連絡をとつて事件末

北は環境にも非常に恵まれてゐま(しお際で機関がゐてくれるので大」いふものはどうなるか、角力など。瑜微顔長二官七段はをられるし歳(は端帯だぶ若い者には叶わんネ俳)で、それから一體賞進業の晩年と 『従來鮮内需要のコークスは背』「波面輝衣里金果琉(ご)は去る九年。『他的剝嬢を講ずることになつ』 【仁川】 全南橘州郡生れ當川郡祖 一般ももうこれで四十一歳、日だけ一今年の大倉頃後表したいと思ひま

ため近く座談会を催すとれなった

要は人の和です

淳々ご精神力の偉大さを説く

「柔道咸北」の至寳 近藤時次郎氏

は夫々行くべき道があるが柔道家 大いに多へわばなられ間感だと思 (右側)』 (右側)』



稀設ជ健原治のため上城中二十一条金根郷氏(江鶴郡選田道路)

暗顱に乗り上げられた形であるクス伽鑞に遠逃し操衆上重大なる

志願兵制度座談會

増加のため分配不可能の現狀にあ

で問島、本葉間共に輸入の途が杜







日午前十一時から支藤列検肝、 水点』養養器の窓標片納食は世 肌を保て

旅作と動物でのよしるこの響

施・政路側新規式感動期的施政方 | 致して經過を報告した後二十四萬場化徹底を帰國、法願兵都度の實 室に管内全面最及び甲型界長を招

内鮮一體の質を製揚し職間たる信

朗讀あり、ついで永井府尹は右調一て消骸局と打合せの上歸任した根

質現することとなり、これにい

示要旨金般に亘つて一段と認識の 帯守は、二十1日午前十一時郡守

恩給の一割

合せ、梅原瓜是の手元に取録め中 著に非常時局に纏み第一排分別 ||水原|| 邑内在住の受恩給者七十

島、本深湖、東二浦日殿よりそれ一十二月から無党許にも拘はらず、

層師の恐板を掛け住民が無智たの

を幸ひ怪しげた治院で最利を直、





から出來てゐます。

ソボリンはなぜ効果的か ||優秀な築理作用と特長||

正な配伍によつて、治療學的に明白解熱銀痛作用の優秀、とれは主築の適

限してあるのはこの理由からです。 分です。一日の服用回敷を二回に制 **効きが早く然も持續的、一回二錠で**十 事實があります。 ですから 弱る、胃翳が弱ると感目を人の解熱鎮痛難、感局の時

用するととは治療上の常識です。 に制限することに成功した新ソポリンはこの憂鬱な副作用ソポリンはこの憂鬱な副作用ひる時一番困るのはピリン疹が出来る人に、解熱鎮痛 様な同脳を害せぬ薬を使



変弱、宿酔、結核性の後熱等、 神經痛、 ロイマチス痛、 、頭痛、 頭重、 眩暈、 齒痛

製造發賣元

大阪市東區道 珍町二丁株式登社 武田 長兵衛商士 東京市日本橋區本町株式會社 小 西新 兵衛 官店

間東代理店



が流行し出しました。治療は早期にこちらし 内攻させたりせぬ様に……

弱り勝ちですから、「リポリン」の様な優秀で、 然も副作用のない解熱鎭痛劑が賞用されます。 殊に威冒の時は胃腸をこわしたり、發熱で心臓が

ノボリンの主薬―

ルとアミノピリンの分子結合物强)する樂物として有名なバル メチルア ミノメタンスルフ 摩名フェニルヂメチルピランて、賞用せられてゐるボン ウム)三鎮痛鎖靜作用を相 治療學上最も優秀な鎭涌





だす薬用クラフ美身クリー

の御常用が何よりです。

金山 四 明 明

来とはどんなも ーム配合のホル クフノ美身クリ

ですが日本一日十二日17日 1日日本 1日日本

九州鄉船獎出帳所

吸收されて若さと美を生み 面からいきなりホルモンが らです。それには皮膚表 溝が出來たり弛んで來る 縮したり緊張力を失つて

式優渉貨啓翰ニシテ

考へになつたら大優な問連 ひです。それは皮膚内部に 面の出來ごとであるとお 養が不足して内皮組織が

を防ぐん そはかす 3 みみわ

河出风代理店目标证据太全社 河出风代理店目标证据太全社 市场上〇書 日本市及 一月十九日 電路一四路 で路一四路



コレと やたらな 美肌のためには、アレ ブ笑身 クリ

企場企業部所出版

一月廿九日

高杉酒店回漕部 高杉酒店回漕部

長豊 西津

若返り美容に就いて

◇用活ンモルホ物植◇

頭が重いから頭痛楽、肩 頭が重いから揉む、貧血してが凝るから火鉢にかじりつくでは、その場だけはよからでは、その場だけはよからてかはつてゐることは知つておかねである。 の細胞賦活力を持ち、鬱内物・ルモンのごとき、特異を方法は――それには、原 ーそれには、!!・ 理的に恢復す

足腰が冷える、肩が凝る、 一で潑剌たる人 して老飯する人 てすくなくない。

あり

いあり

早老 格的な老妻が 格的な老妻が ではない。 金 を では ではない。 ではないない。 ではない。 では る人もあるが

のがネオネオギーである。エ、鐵器ホルモンを配した、ヘーフタミンABCDE、ヘーフタミンABCDE、ヘーフ

するにかざると思かるというの老廢物質をのな 用をも活潑に 一般をおおりまして、全身のま

迎春福當り ネオネオキーお質上母に 二重特別景品点れなく添付勧業債券三百六十名様贈呈 愛用者奉仕

の勇士もホロ

IJ

戦地から一死報國の知らせ

フ・) きランプの火にて のみとりをする』 T和智の領に自衣の鏡 Tつ舞び上『下左』 今息 連着「凸版」牌中の 連体 開閉在【上】 夕里 連絡を決き 西東省高級技「下台」

そう一つの芽に留守宅の庭先に訳

世界最高記錄を樹立 百米自由型に

丁抹の至實デナー娘

のは〇〇部隊の即袋を預つてる

留守宅の家族も歌

今の和歌で職場の模様を知らせてゐる。風流部隊長々に推邦整備』を一日千秋の思いで待つ留守宅の妻と子に

部院を抱く健死から扱つて くれた戦場の事を永久 私は〇〇部隊の生きた肥恕碑として成長させ、一

留守宅に偲ばせ、あの南苑の大。ほれしと聞きに 職で愛用を亡くした県流部隊長り一の歌を送って傷心の父を慰め 用る一概のいと

「日の丸の糖南苑にたびくとぎ、夫人のえ子さんも大和心を歌っ三一

皇軍を救うた衆

ぜひ立派に育てた

のえ子夫人、愼はしく語る

いっぱいずし

ニ一時引揚中ノ處今般背島ニ復歸一月十九 常社市島出張所昨夏來時局ノ爲大連友店內

日ヨリ開店致居候間此段廣告候也

城和宁马年一月

東洋拓殖株式會社

大相撲春場所星取表(歐端)

京南鐵道鐵

顧告受付 | 月廿 | 日ョリ卒 業 生 無 試 験 開 業

|新武運長久

近點於正郎

#細本枝要覧請求プレート | 10 不恵門 | 10 不売用 | 10 不売

東京市

| 水 御 馬 元 町校要覽請求フレ

泌尿科専門 聖5

育イナシン

吸血鬼退治人

大相撲春場所十二日目

, <u>M</u>i

いつて在来の挿入準では思ふやうに

サンプーン旅游をお削めします。 ゆきかねるといふ方に……近代的な

一年 ちはしい手数を楽します、それかとは楽様ですが、これは傾っていました。

打田平楼五世四十五分 新田山 (出し長げ) 実ノ神 前田山 (出し長げ) 第女川 王 錦 (より切り) 夢祝山 王 錦 (より切り) 夢祝山 田山 (出し長げ) エノ神

引 点。イラバンド製作は ・ 大川の日本文の中島山、東の名の日本では ・ 大川の日本文の中島山、東の名の日本では ・ 大川の日本文の中島山、東京 ・ 大川の日本大田 - 大川の日本で ・ 「田田日本大田二九六一人日

-三巻品品デリ

布區役町六番地

惟た泉を脈はすまでに緊張、羽黒

【東京文社特職】作場所もあと】

萬圓怪盜 ひに釋放

書類だけを局送り

回に亘つてきた。生を解野袋の関連の二旗同係が犯人命を変に、「世報」家宮入りを修べられ七年。 在桐を巧に切り抜けてゐた國際 去る十二月廿四日京郷道刑事 その化をはがれて機器され

・ 「概(二三十四分)・ 「既在十銭 中原日本優盛木町二丁月田港モニ ・ 「現本つき) 解入用の方は ・ 日本つき) 解入用の方は ・ 日本つき) 解入日本

•

各に限り特に登録にて掲載すの時報が外金は前納の事は就職の関立十類限名は一回祭に丘十五を贈行す十五字暗一回五行一五種哲学十五字暗一回五行一

+

和座约百五十坪、電話三一五六番 安原三右衛門 場 英耶广。場所大意展地、昭

松栗口栗水

放し、取開べ一段落と共に悸頻だ

建築世界

一般更所 東京市京橋二ノ二須原安・一般 三日 材料時便要は上旬の調査に大同国 並目百五十億国証非豊富の 院圖案お張間架構 殿帽に

大宝り近したパート十ケ

切別常吹

原因的治療劑です。 「病国(尿酸)を排除する 病みな止めるばかりでな ながりでなり、即に がりでなり、即に 作の起り易い時です。 最寒期はリウマチスの段 東宋 二五元 王・〇〇

戦線に訪べの武戦を横て護國。西通用門は各種戦闘がそれと

自衣の勇士、〇〇部隊名響の職能 各六時龍山政治列車にて周辺する

通常関名繁種領事利祭部氏は「サルベージ第二光明丸が現場に急」決励しく相當作業用難である、同「差っ立できょしころを返したもつで」もまただり

復群丸(三千九百十九噸)は日本「作業を載けてあるが沈治質所に添」で建造されその後十七年間駐済職長脳丸と衝突改改した四条連絡船「行、三瀬技師の指揮で必死の引揚」程は火正十一年十一月三級运給所長額丸と

修理の上再登場の筈

公人模集(成與)石龍元(資 明天(徽文高音)金河吉(江

を脱みつけて脾肉の薬をかこつ朝

【上】軍司令部、北支の空 りが陣内観土指導の下に掛撃も勇 鬼風も何のその、古機道商頭では

多期長も毎期四部して一同を施配さしく経練習を検げてゐる。久納

戦時體制下の寒げいる

懸を消した

|氷上大倉に出場すべき朝鮮側 具並に監督 及び選手は左の如く決定した

日安見で行はれる第三回経済

役員選手決定

白衣の勇士

秋を寄せ昨今は一日敷丁道に上、一二月五日京城歿鬲風荒。北支に、「と左の)変が贈つた、この示心こも

る半島有力者の財門を受けた自衣

感激を綴る出征兵士の家族

州と時間の主義を定べ見録金百理 「荷々塩秋光四次」の学自の保利平自即保利等に自食の勇士を訪い際、上京教師又中央、海里山河旭ら旗。たり、これに先立ち二十四日雄(の青兵に繋艦してある)

名をまじへて廿三日午後

總督府外移部でに新政権下に明飾 | 五人の麋託を各地に駐在せしめて | 積られてある

總督府と現地との連絡を野衛に

新年度實施に決定

てあらゆる方面からその指導維育

龍山側も

湯錢値上

許可願提出

稷山の强盗

廿四日午前一時ごろ忠南天安郡桜

勝屋組合では入浴料六銭を七銭に特優勝貨に悲鳴をあげてんた京銭 他上げしたが、他山方面だけ

京城に潜伏か

〈五尺七寸位の大男二名が 】尺五

合抗でることになり廿四日和山

開第が二国七十段を國院賦金した。卅三分京城縣藩 『の ぞ 外』で歸姓の前の一日十段を國院賦金した。卅三分京城縣藩 『の ぞ 外』で歸姓の「韓一十日十段三時 時半ごろ本町署を訪れた二人の 五千関による愛園の至誠をこめ 姉弟献金 青星 軍司会部を訪問し久納念牌長に一 北支半島同胞に 時から吉田健道局長

第一高女二年生——同五人一。著

殖

門部圖 で既文後800 1 WO橋・六七川〇番 1 東京市・ホー川 川本 7 荷谷町 1 東京市・カー川 東科 二同ジ ク試験 独 1 同レモ **茅** 學生

所 電話来(2)五二九二番へ 根非町一ノ三人 おキュガー 村 阿女名がソッシン の 4 能特に関して す 京城建築機 ア 日の上の 1 により できるがソッシン ア 1 により ア 1

大阪東京 田邊商店

スチマウリ に痛經離

中山も九谷も、やがて十一人が軍一レもあつたもんちゃない、一杯にれぬ質感があつて、横井今丸関も「瓢羹の高泉中には事情もヘツタの鷹度には、笑つてはかりもすまさ「瓢羹が大語に近付いてあるんだ、 事がある、上云ふのは、一種 他 あるのはお時に依れてみない難罪 4、何時か一度は我が身にもめく 『他人に相談するくりるの餘給が できったとも、お時がったければ お前たちもみんな聞いてゐる たいと思ってるる 世後首を云はされ早く話せ』 と夫婦にたるべきか、どうか、 せでわい (壁いでゐた女たち 成しないか) 何時になくしほれ収つた真島の お時と別れてはいけたい 記念會(四) その判断をみんだにつけて戦 のは、法科の理主にして聯を作るう種姉にされると知ってテレー素言葉であった。 本情がある、関元 | 時半に及んだのそして本日、 |あられなければ死ね。そいつが腰||では節けない立場にある。 元が、然し、一度、事情は聞い |観要が大語に近付いてゐるんだ、|| 概要にしても、異島とお時の場合 | こんな事を、みんたに相談して見 は形を變へてみると思って好い。 「事情を参酌するやうになつては 昨日の教後は、黒百七十九以下 は約十分を養した。この脈に就い さら云って一座を睥睨してゐる 難い侵分の一點 ŋ に目算 第4手 中島縣學(新・外 ・特子 麻崎 雅学美・外 ・科子 麻崎 雅学美・外 ・科 八 月山 雄山・外 同一野10分(親)第四回部開合 同一野10分(親)第四回部開合 |は云へん、対岸の火事を見て投つ||所置に腰一人の判職で行動するよ は、俺たちだって満更繋がないと てやらうちやないか、風元の事機もりかり 八十二と始まつたが、この手に自 . 『そりゃさうだ、此趣にゐる我々』 と云ふやつを……いくら主題的な「引いや、さら餓草にもいかん、又 - 歩兵第七十八幕除暦 | 四八巻五五分(東)浪花師 大図 十三統1でみつもり山内作戦紀に、京城 | 推 タド音楽で 4つもり山内作戦紀に、7、4、7、7、7、7、7、7、7、7、7、7、7、7、7 美繪 同四壁三〇分(東) 水札模な場所 同四壁三〇分(東) 婦女 か子 元臣 同四時 ニュース・外 は、白百八十二の手で百八十七だ たところで結論を得られやせん。 は感要も終局に近付いてみると云 六さでは失策かと思っさ と云ふの ふのは、たしかに一見識だい た。 事情を念的するやらになって 心で、話す勇気がくじけてしまう 「事情と云ふのがよう云ふのか、 言葉の音楽が妙に繋いてしまった **複井が口を切つて、一同が眞島** 頭に残つた ヒアノ作 百八十二以下百八十 美子 | 告する。そこで九條左大臣が配父 美一様な感情ではあるまい。 恐らく紀 と、「概に後に直る人であつてみれば左 日にあたるので徳太郎は預けられる スポート (日本語 10分 新聞音 10分 (日本語 10分 新聞音 10分 (日本語 10分 (日本語 10分) またと 子様で 「日本語 10分 (日本語 10分) 日本語 10分 (日本語 10分) 未消放此際は門前排ひに致了と宜 同一〇時五五分(中) 英治ニュー 同八時五0時 唱劇調 周一〇時四五分(三)支那品ニュ 同八時一〇分 淡流 午後霧時五分 十二の1子を扱れたい型でも解説 しずう。 後を飼いだ、所が七代将軍の死後 ついて勉强をし、二十六歳で松平 様が、その前に白には、白(い) 云ひ放つて、頻りに慰面を見つめ 伊國堂の徐郷三郎といふ儒者であ 果を試みるとせば、これを収むべ 九十が百八十五の直下、と白が黒 百八十五の直下い大劫が突發することになる。 粘だと、先づ自四以下単七となら 二と常ての時、黒三を一の眞上に 参売側に依つて示せば、黒一に自 十二の一子は収められない、と、 讃岐守三萬石となり、やがて兄の と出る手順もあるから、汹者が終 八十五の一子獲りとなって現れ 即ち、無百八十九を黒一として 以上で、明日の譜面には、白百 黒悪化の劫争 鄉鄉 湖梁 | 午後零時五分(東)トーキー| |国二時(成)小男生の時間 おすのきもの デン公が緊留家の一端をひつはつ 同七時四〇分(城)端河 日朝鮮郵船聯出帆 |単博士です。博士に成任的歌版の 秋男君と一緒にのります。そのと 持つて「ヘルクレス號」に近づき 為めヘリウムガスをつめた||軽氣球||沙 市 行 平安丸 〇西鮮航路 火製だ「ヘルクレス號」の運命は? たので『ヘルクレス號』は鞘にく さミネちやんの家のシエバード ミネちやんなどその外の友達など 近にあづかった歌数音につ 廿四日、宮中に於て行いせ 婦人の時間 (後、時上ど) 新年歌神舎の遮歌に ついて の歌所者人 金子 元臣 廿六日(水) ヘリウム小僧(一) 〇浦駿行 一大田 新津八日 樂店元日 一大山、石田 新津八日 樂店元日 〇上海・背島行 (休貞中) 上、共同大 回波共同 汽船 非出机 盛京丸 第4年三日 第4三日 第4三日 第4三日 第4三日 風が吹いても 通 解內代理店、案內所 電話本局長 | 〇川〇川 朝鮮汽船出帆廣告 が特別で 大連内地直行 日高連絡和日後 大連内地直行 日高連絡和日後 ソバカス 学内所 京城三 財 釜山三甲井 東内所 京城三 財 釜山三甲井 離朝日和 りょう | 東用クレーム がだんく、薄らいで治る ンミ取り 大多数 | 大時門可遊後 | 時一早期 け、永年のソバカス、シミ商山なニキビも至かく常 號(眷通)一國三十個 盖 釜 山 商 船 組 組 組 組 組 組 組 京 城 支 店

力

かる」といふくらんです。

ふべきでせらっ

大に、これを疑判に飲め大に、これを疑判に飲め、大に、これを疑判に飲め地が試た快適で、得も云はれぬたいとうたる気分をつくり、よくなに、得も云はれぬたいとうたる気分をつくり、よくない。所もこれに関を誘ふのです。而もこれを疑判に飲め

大変成分の主なるものは 個 を素であって、これの登録を 関に少しも前との負妻を 関に少しも前との負妻を 関に少しも前との ですから消化力の変へ てるる人には特に好物合で であって、これの登録を 関に少しも前との ですから消化力の変へ くといふ事です。而もそのた祭叢になつてよく身につ

化を助けて、よく身につけを進めた上にも、それの消傷きもあつて、変分に食事 消化液の分泌を盛んにするく食事を進めます。なほ又く食事を進めます。なほ又 前には舌神秘を適度に刺戟を有してかり、これが、食を有してかり、これが、食を打してかり、これが、食 赤玉ポートワイン自体もまそのらへ更によい点は、 るわけです。 赤玉ポー トワインは旣に

り眠らなければいけませんり眠らなければいけませんり、それによつても分るとに関に原文な関係があるとに関に原文な関係がある。 の三つの、太るたとの重要の三つの、太るたとの重要ところで、赤玉ポートワ く世間で「髪る子は太る」とも云ふべきものです。よとも云ふべきものです。よ でなくてはいけません。前の消化力が弱くては喰べ勝の消化力が弱くては喰べ勝の消化力を旺盛 大病後の恢復期にある人はりで、更に例を擧げれば、と云ふでせう。全くその通 み下さし。私よく眠るためにするためには食前にお飲 には総前にお飲み下さい。 項で述べたのが第一條件な にするため及ひ消化を光分 とが出來ます。真然を旺盛 次には睡眠です。これは これは第二條件ともい 0

9

では光づそこにあるとみでの御返事が、どれか一つでも「イ・エ」であるなら、あなたの太れない原因の一つは光づそこにあるなら、あなたの太れない原因の一

大ろはに住食剤が呼盛でなければいけません。太る気の第一様件はこれです。気の第一様件はこれです。低度である為と云つた方が低度である為と云つた方がしいかも知れません。病人といかも知れません。病人